

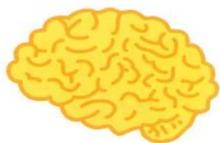


ほうかつだより

回
覧

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して

認知症とは、様々な原因で脳の細ぼうが死んでしまうなど、司令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害が起こり、生活支障がおよそ6か月以上継続している状態を指します。



健康な脳



アルツハイマー病の脳
の細ぼうが死んで
脳全体がちぢんでしまう



脳血管性認知症の脳
にんちしょう
血管がつまって
一部の細ぼうが死んでしまう

認知症高齢者の推計（久留米市）



※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業九州大学 二宮教授）より全国の認知症有病率を基に久留米市を推計。（令和3年3月時点）

ご存じですか？

現在、久留米市の高齢者人口は約8万4千人（令和5年11月1日現在）であり、**認知症高齢者の推計値は約1万6千人**とされています。認知症は誰もが関わりうる身近なものです。認知症の進行を遅らせたり、症状を軽減したりするためには**早めに気づき対応**することが重要です。

～ものわすれセルフチェック～

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> しまい忘れや置き忘れが増え、いつも探しものをしている | <input type="checkbox"/> 下着を替えずに身だしなみを構わなくなった |
| <input type="checkbox"/> 慣れた道でも迷うことがある | <input type="checkbox"/> 些細なことで怒りっぽくなった |
| <input type="checkbox"/> 「頭が変になった」と本人が訴える | <input type="checkbox"/> 新しいことが覚えられない |

※あくまで気づくためのポイントで医学的な診断基準ではありません。久留米市認知症支援ガイドブックから引用



ガイドブック
QRコード

認知症の人を支えるために

誰よりも不安になるのは認知症になった本人です。認知症の人が不安を感じながら生活していることを十分に理解して接することが重要です。周りに『認知症かな？』と気になる方がいたら、**かかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう！**

地域包括支援センターでできること

相談内容に応じて**受診に関する相談、各種サービスや事業の紹介、地域の情報**などをお伝えします。少しでも早く対応することで、認知症の進行を遅らせることや介護の負担軽減にも繋がります。



地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者支援や専門的な地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指しています。**次回、3月号では成年後見制度に関する内容についてお伝えします。**

